

## 編集後記

「イスラム教の叛乱」にともなう世界的動乱のうちに80年代を迎え、世評は悲観的な展望において一致しているようだ。事態はたんなる第二次オイルショックという域を超え、これまで戦後体制を支えてきた枠組の崩壊といった様相さえ呈しているかにみえる。よくいわれる「多極化の時代」というよりは、むしろ政治・経済・文化の諸領域にわたるカオスの時代といった方が妥当するかもしれない。願わくばこのカオスが、次のよりよい新たな段階へのサブステージであってほしいものである。

しかし技術の進歩や組織の発展は、いかなるときもその歩みをやめはしない。そこで将来への方向性が定かではない現在の状況のなかでは、とくにそれらの一人歩きが危惧されよう。「文明かならずしも文化かならず」のたとえもあるように、今ほど文明的進歩を文化的発展へと導くべく役割が要請されている時代はないであろう。しらせ時代の風潮を容認しつつテクノロジーに埋没することは、とりもおさずこうした任務の放棄を意味することになるであろう。いかなる分野において活動するにせよ、このような自覚だけは失いたくないものである。

さて、年末年始の多忙な時季にもかかわらず、本号にも諸先生方から意欲的な労作がよせられ、無事に編集を終えることができた。記して謝意を表したい。  
(T. K.)

流通経済大学論集 Vol. 14, No. 4 (通巻第53号)

ISSN 0385-0854

昭和55年 3月15日 発行

非売品

編集兼発行所

流通経済大学学術研究会  
茨城県竜ヶ崎市字平畑120番地  
電話 竜ヶ崎 (02976-2) 3521 (代表)  
財団法人 東京大学出版会  
東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内  
電話 東京 (03-811) 4281

製作所